



高槻ロータリークラブ

2022~2023

WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

I 真実かどうか

II みんなに公平か

III 好意と友情を深めるか

IV みんなのためになるかどうか

事務所 〒569-1116 高槻市白梅町 4-1 高槻阪急 6 階

TEL 072-683-1158 FAX 072-683-1174

URL <http://www.takatsukirc.org/>

E-mail takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30

例会場 高槻阪急 6 階 多目的ホール TEL 072-684-5379

創立 1954 年 6 月 15 日

会長 石田佳弘 幹事 長山正剛 クラブ運営委員長 山室匡史 会報担当副委員長 松下浩章

No.10 2022 年 9 月 14 日 発行

9 月は基本的教育と識字率向上月間 / ロータリーの友月間

第 3288 回 本日 (9/14) の例会

- ◎ ソング・・・四つのテスト
- ◎ 卓話 中西 美代子君
「 特殊詐欺被害防止について 」
- ◎ 例会後の行事
地区大会実行委員会事前協議(高槻 RC のみ)

第 3289 回 次週 (9/21) の例会

- ◎ ソング・・・それでこそロータリー
- ◎ 外部卓話
大阪府健康医療部生活衛生室 薬務課
麻薬毒劇物グループ 塚中 万里子様
「 薬物乱用防止啓発について 」
- ◎ 例会後の行事
第 9 回地区大会実行委員会

先週 (9/7) の例会から

◎ゲスト

計 1 名

国際ロータリー第 2660 地区 IM 第 2 組
ガバナー補佐 伊藤 智秋様 高槻 RC

◎出席報告

会員数	出席者数	出席
46 名	42 名	93.33 %
前々回例会補正後出席率 95.35 %		
但し、Mup 3 名 欠席者 2 名		
出席規定適用免除有資格者 3 名		

◎会長の時間

そしていよいよロータリーの地区大会まであと 3 か月半となり、おおづめになってきました。

12 月 16 日、17 日と 2 日にわたり地区大会が開催予定です。

「大阪のロータリー100 周年を祝おう」を記念して 100 年間の思い出を刻み、二日目には大阪のロータリー 100 周年特別講演と称し慶応大学教授の宮田裕章先生による講演など皆様、力を合わせこの大会を成功に導きたいと思います。

それには高槻 RC 全会員様の英知と知識、情熱、行動力を必要としています。

地区大会実行委員会の浜田実行委員長や藤井副実行委員長、河合幹事や地区幹事団を中心に汗水を出して綿密に計画を立てて頂いております。

大変な作業であります。地区大会を運営するというのは本当に大変なことなのです。

高槻 RC がお引き受けした以上、皆様に恥をかかさなようにしていきたいと思っております。

また 9 月に入りましたので他のクラブにも地区大会の PR 活動も始めなくてはなりません。

これには多くの人手がかかりまた時間も必要です。

何卒、高槻 RC 全ちからを合わせて取り組みたいと思っております。

何卒、何卒、皆様の御協力宜しくお願い致します。

そして 9 月は「ロータリーの友月間」です。

RI 理事会は 9 月を重点分野：「基本的教育と識字率の向上月間」としました。

地域社会で基本的教育を普及し、識字能力を高めるためのプログラムを支援し、地域社会の参加を促進、成人識字率の向上、教育における男女格差を減らすための活動、基本的教育と識字率向上に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援を強調する月間であります。

イマジンロータリー

ジェニファー・ジョーンズ RI 会長

しかし雑誌月間の廃止に伴い 2015-16 年度より日本独自に、9 月を「ロータリーの友月間」としました。

「友」は 2023 年 1 月号で創刊 70 年を迎えます。

これを記念し特別企画の掲載を予定しています。

「友」の歴史と合わせロータリーの歩んだ活動、思想を振り返り「友」へのさらなる関心とロータリー活動への関心を高められる記事を提供する予定です。

ロータリー地域雑誌と呼ばれる「友」誌は、全世界に 31 誌ある地域雑誌でその目的は地域の特徴ある活動をその地域のロータリアンが共有することにあります。

また、『The Rotarian』の中からいくつかの記事を、すべての地域雑誌にも掲載されているのは、全世界のロータリアンが共通して知っておかなければいけないからです。

会員の義務でもある雑誌の購読や記事紹介を会員に強調する月間でもあります。

『ロータリーの友』は日本におけるロータリーの機関雑誌は、国際ロータリーの認可を受け、Rotary Global Media Network の一員として発行されているロータリーの地域雑誌です。

地域雑誌としての『友』は、ロータリアンがロータリーライフを深めるためにも、またクラブが RI とのつながりを実感するためにも必要な媒体なのです。

2013 年規定審議会で、ロータリー地域雑誌について、会員は印刷媒体か電子媒体のいずれかを選択して購読することができるようになりました。

それを受けて、ロータリーの友委員会ならびに一般社団法人ロータリーの友事務所では、2014 年 1 月号から電子版を発行し、2022 年 7 月号からは「印刷版」と「電子版」を選択して購読ができるようになりました。

ロータリアンの視野を広める『ロータリーの友』基本的にはロータリアンのための機関・情報誌です。

横組みのページには、RI の指定記事、ロータリーの特別月間の関連記事、特集などを掲載しており、縦組みのページには地区やクラブの活動、ロータリアン個人としての意見や経験談、職業上の知識などを掲載しています。

会員歴の浅い方や、ロータリアン以外の職場の方やご家族がお読みになっても、ロータリーの理念や活動がお分かりいただけるよう編集されております。

同時に、役立つ生活情報、社会生活の話題を取り上げることで、内容の充実を図っていますので是非とも精読するようお願い致します。



◎9/7 卓上花

バラ …………… 愛
ソリダスター … 私に振り向いて

◎国際ロータリー第 2660 地区 2022-2023 年度

IM 第 2 組ガバナー補佐 伊藤 智秋様



ガバナー補佐を務めさせていただきます伊藤でございます。ガバナー補佐は、ガバナー公式訪問の 2 週間前にお邪魔して、各クラブからお話をお聞きしたり、お伝えしたりして、地区とクラブ、クラブとクラブを繋ぐ役目を担っております。お願いすることも沢山ございますが、ご意見やご質問も持ち帰りたいと思いますので、1 年間宜しくお願い致します。

9 月 23 日(金)～25 日(日)まで秋の RYLA が開催されます。同じ IM2 組の茨木 RC さんが担当されますので、今からでも参加をお願い致します。

10 月 24 日は世界ポリオデーです。ポリオの根絶にご協力をお願いします。

来年 2 月 4 日は茨木東 RC が担当して下さる IM2 組の「IM ロータリーデー」です。フレッシュロータリアン研修も行う予定です。入会 5 年未満の会員の参加をお願いします。

2022 年の規定審議会で身近な事に変更されました。

(規定審議会とは 3 年毎に行われるロータリーのルールの見直しです)

- ◎22-13 会員がクラブの所持地域に住居または事業場を有するという要件の削除
- ◎22-84 ローターアクターはゲストではなく、ビジター
- ◎22-85 クラブの出席状況をガバナーに月次報告しなくても良い
- ◎22-92 出席規定の免除は希望を書面でクラブ幹事に提出すれば、クラブ理事会の承認を必要としない。(ロータリー歴が 20 年以上+年齢=85 以上)

地理的に関係が無くても、好きなクラブに入会することが出来ますし、出席免除されたい会員さんは幹事さんに書面を提出するだけで OK です。

クラブの出席報告はガバナーにしなくとも良いのですが、ロータリーは「ロータリアンの 3 大義務」にもありますように例会出席が重要です。(例会出席、会費の納入、雑誌購読)

本年度は RI 会長のテーマは「イマジン・ロータリー」(ロータリーの明日を想像し、行動しよう)

テーマカラーは緑・環境、白・平和、紫・ポリオ根絶です。

そして、最優先事項として DEI への取り組みが掲げられています。DEI はロータリーだけの特殊なものではなくて、世界的な流れとなっております。

今年もロータリー賞は狙って下さい。マイロータリーへの登録も、寄付もお願いしたいと思います。

高槻ロータリークラブでは特に、マイロータリーへの登録が低迷しております。パソコンなんか使いませんと言

われる方もおられると思いますが、ロータリーでも必要な情報は全部 WEB 配信です。国際ロータリーでは 100% 登録、登録は必須となっております。

今年は高槻ロータリークラブで「地区大会」の開催を担当致します。

今は、予算を取ったり、使う場所を予約したり、時間を決めたりをリーガロイヤルホテルや国際会議場、どういったことをやるのかをガバナーと幹事団などで協議をしています。

今は、「蚊帳の外で全く存じません」と思われておられるかもしれませんが、他クラブへの PR には、クラブの皆様全員に参加して頂きますし、更に他クラブからも応援を頂く事となるかもしれません。

地区大会は「年度」で最大のイベントです。絶対に失敗は出来ません。是非ご協力をお願い申し上げます。

茨木 RC さん主催の「RYLA」への参加をお願いしましたが、「IM」も「RYLA」もその内担当が回ってきます。その時に「見たことも聞いたこともないわ」を繰り返さないようにロータリーの行事へのご参加ご協力をお願いします。

又、自クラブが担当したときには、他クラブにも協力をお願いすることになります。自分のクラブに協力を要請するなら、他クラブにも協力をして下さい。

今、世界もロータリーも急速に変化しようとしています。日本には日本の、2660 地区には 2660 地区の良さがあり、高槻ロータリークラブには高槻ロータリークラブの良さがあります。私達はその良さに惹かれてロータリーに入会し、ここに居ます。今まで通りの良さを大切にしつつ、世界の流れに取り残されないようにもしながら、停滞していた親睦と活動を再開し、ロータリーを楽しむ 1 年になさって下さい。

ありがとうございました。

◎幹事報告

- ・高槻 RC の「2022-2023 年度概況報告書」が仕上がりました。本日皆様へ配布しております。新入会員の皆さんにとっては初めての概況報告書だと思います。概況報告書の最後には皆さんのお名前も載っております。高槻ロータリークラブ 69 年間の歴史の一部がここに網羅されておますので、ご覧いただければと思います。宜しくお願い致します。

◎委員会報告

◎地区大会実行委員会

大木 城司

- ・地区大会の PR 活動でクラブの訪問をお願いしております。早ければ明日 9/8(木)から訪問が始まります。直近になり大変申し訳ないのですが、訪問に際し持参頂く物を用意致しました。PR 動画については、先日事務局よりメール配信にてダウンロードできる形をとっておりますのでご自分の USB に動画を入れて持参頂くか、動画入りの USB を 5 本用意しておりますのでこちらを持参頂いても結構です。封筒には、チラシ・当日やる事(基礎知識)などを入れておりますので、お帰りの際お持ち帰り頂きますよう宜しくお願い致します。お忙しいところ恐縮ですが PR 活動宜しくお願い致します。コロナで休会になっているクラブは 10 月へ振替とさせていただきます。変更などの情報は都度ご連絡致します。御協力宜しくお願い致します。

◎卓話

「エッセンシャルワーカーという言葉についての私見」

光本 智輝

卓話の機会をいただきありがとうございます。今回の卓話はちょっといつもと趣向を変えまして、日常生活の中で感じたちょっとしたことについて語りたいと思います。おられるかどうかはわかりませんが、最新の発破情報で大爆発ドカーンを期待しておられた方は申し訳ございません。錚々たる諸先輩方の前で恐縮ですが今日の卓話はエッセンシャルワーカーという言葉について私の私見を述べさせていただきます。若輩者ゆえに間違った解釈や偏った意見を述べる事もあるかと思いますが、私の感じたままの考えを述べさせていただきますのでどうぞ温かい目で見えていただけますようお願いいたします。

昨今、新型コロナウイルスが急激に蔓延し始めた中、2020 年頃からエッセンシャルワーカーという言葉をよく耳にするようになりました。各種メディアにも取り上げられ広がったこの言葉ですが、自分自身でふとした違和感を覚えた事をきっかけに「エッセンシャルワーカー」の事について考えてみることにしました。

違和感を覚えたのは 1 年程前の事です。電車でのアナウンスで「おはようございます。エッセンシャルワーカーの皆さん、毎日ありがとうございます。」と敬意を示して車掌さんがアナウンスされていました。その後、駅の電光掲示板やポスター等、文章としてもエッセンシャルワーカーへの感謝の言葉が羅列されていました。当時都会で行われる会議等の自粛が続き山と家との往復が続いていた状況であったので久しぶりの都会の景色がだいぶ変わっているように思いました。それにしてもやたらとエッセンシャルワーカーと言う言葉を押し出しているなと思いそれがなにか圧迫感に近いものを感じられて不思議な違和感を覚えました。当時、「エッセンシャルワーカー=医療従事者のこと?」という程度の知識しかなかった私は、無性に気になって「エッセンシャルワーカー」という言葉をその場でスマホにて調べました。検索した結果、

(HR NOTE「エッセンシャルワーカーとは? 事例を元に詳しく解説!」より引用)
エッセンシャルワーカーとは

エッセンシャル(Essential)とは、日本語で「必要不可欠な」「非常に重要な」などの意味を持つ言葉であり、エッセンシャルワーカーを直訳すると、「必要不可欠な労働者」となります。

つまり、普段の生活維持に欠かせない職業に就いている方々のことです。

コロナ禍においてのエッセンシャルワーカーにあたる職業としては、具体的に以下のようなものが挙げられます。

- ・医療従事者(医師・看護師・薬剤師など)
- ・介護士・保育士・教員
- ・公務員
- ・小売業者・販売業者
- ・第一次産業従事者
- ・運輸・物流業者
- ・インフラ事業者

という結果が出てきました。そこで初めて医療従事者以外の様々な職業がエッセンシャルワーカーと呼ばれるのだなと知りました。

ちなみに自らの生業である砕石業は？と思い調べましたが、ここでの第一次産業従事者は農業従事者、インフラ事業者はガス、電気、水道等の生活インフラ事業者を指すようです。

並べられた職種を眺めていると、俗にいう人手が足りていなくて個人の負担が多くなる傾向の大変な職種ばかりではないかと思いました。実際にインターネットやニュースで賃金や拘束時間の長さなどで労働環境がよくないと取り上げられる事が多いような職種に感じます。

スマホの機能にはキーワードを入れるとその続きでよく検索されているキーワードが出てくる予測検索機能のようなものがついています。その機能で「エッセンシャルワーカー」に続いて「やりがい搾取」という言葉が出てきたのでこれは…と思ったので調べてみました。

(朝日新聞デジタル 2020/9/3 記事より引用)

東京大学教授 本田 由紀氏

雇う側が「やりがい」を強く意識させることで、働き手が低賃金や長時間労働といった環境に順応してしまう。

私はこの構図を「やりがい搾取」と名づけました。2007年の論考で指摘して認知されるようになりました。しかし、10年以上たった今でも労働現場の搾取の構造が改善する傾向はみられません。

コロナ禍で注目されているエッセンシャルワーカーはその一類型といえます。

医療や介護、保育などの対人サービスは献身的に顧客のニーズに最大限、応えようとして働き過ぎる傾向があります。自分たちの仕事は他の人々の生活や生命を成り立たせるのに貢献している。この「奉仕性」がやりがいとなって低賃金で働くのも仕方がないと思ってしまうのです。

過酷な医療現場では、やりがいを感じる心の余裕さえ失うケースすら出ているといえます。これらの仕事は利他的なのですが、他人に尽くすことが「自分の仕事自体に価値がある」と満足できる理由にさえすり替えられなくなる厳しい労働実態があります。

エッセンシャルワーカーは社会基盤を担う重要な職業である、という認知は社会的に高まっていますが、その実際の所は責任の重さや業務負荷の割に賃金や待遇に釣り合っていない、さらに改善もあまり進んでいないということのギャップについて疑問を感じました。もちろんコロナ禍の厳しい状況でも必死に環境改善に努めておられる事業者の方達もおられます。その一方で厳しい環境で働き続けなければいけない方もおられてその問題点が浮上してきているのでしょう。

私の感覚ですが、エッセンシャルワーカーという聞こえのいい言葉の裏側で必死に無理をして働いている人間がたくさんいるというように感じます。そんな中でエッセンシャルワーカーという言葉だけを押し付けて無理をさせたままで働かせ続けていく事が正しいのだろうか、という気持ちちがでてきました。

このままだとコロナが過ぎると感謝の気持ちと共にエッセンシャルワーカーという言葉も薄まっていくのではないのかと思います。本質は改善できておらず言葉だけが独り歩きしている状況では大変な時期が過ぎてしまうと見向きもされなくなってしまっているのではないかと感じます。エッセンシャルワーカーはコロナと共に流行った流行り言葉なののでしょうか。そうなるとうとうエッセンシャルワーカーの皆様は宛てられた応援が「緊急時で大変なんだからエッセンシャルワーカーの皆さんは我慢して悪い環境で働いてください。応援しますの

で。」という皮肉にも聞こえかねないのではないのでしょうか。コロナ禍で苦しい中であってもあってもなくても感謝の言葉だけではなく行政や経営者がそもそもの問題である待遇改善に成しうる限り努めるべきであると思いました。現場で働いている人間がやりがい搾取をされる構造はエッセンシャルワーカーでなくとも社会的に問題があると私は思います。

エッセンシャルワークの1つである介護業界をピックアップしてみると、介護業界については行政が介護報酬を決める仕組みで、有料老人ホームのように全額自己負担分を増やさないと独自の値上げがしにくい＝従業員にも還元されにくいという問題があるという事がわかりました。施設利用者の中で困っている方は特にできるだけ金銭的な負担が少ない施設を探す傾向にあると思いますのでこれは経営的にいうとかなりバランスが難しいと思います。介護をビジネスととらえる一方で出来るだけ利用者の負担は少なくしたいと考える経営者も少なくないのではないのでしょうか。そんな中、介護職員の待遇改善の助け舟として2012年から介護職員処遇改善加算という制度があるそうです。簡単にいうと、キャリアアップの仕組みを作ったり、職場環境の改善を行ったりした介護施設や事業所に、報酬という形で介護職の給与を上げるためのお金を支給するという制度です。この制度では事業所が取得したお金は介護職員に賃金として還元することが義務付けられているのでとてもいい制度だと思いました。ところが、悲しいことですがこの制度を悪用し不正受給している事業所もいるようです。介護業界全体で職員の待遇改善に取り組んでおられる中で、私腹を肥やすために制度を悪用するなんて私には考えられません。そういう経営者はエッセンシャルワーカーを、ひいてはその業界自体を軽視しすぎているのではないのでしょうか。

砕石業に関していえば私は、頑張っている人には頑張って働いた分のリターンがあるべきだと考えています。コロナ禍でのエッセンシャルワーカーに似た状況として砕石業でも少し通じるところがあり、大阪万博や阪神淡路大震災の復興工事、新名神高速道路や安威川ダム建設など要所で爆発的に人手が足りない忙しい時期がやってきます。インフラに関わる重要な原材料として砕石を止める事は許されず、従業員にも大変な思いをさせて納入してきた歴史があります。その中でやはり、砕石業という仕事を絶対にやりがい搾取の場にはしたくないと考えており、3K（きつい、汚い、危険）というイメージが世間についてしまっている中で、従業員への給与面での還元はもちろん、休暇を回して取りやすく、従業員またその家族が安心して暮らせるような職場づくり、新3K（高収入、休暇が取れる、希望が持てる）に取り組んでいます。

エッセンシャルワーカーについてもエッセンシャルワーカー＝過酷なブラック体質というような逆のイメージがついてしまわぬよう、待遇の改善について第一に取り組むのは経営者や行政の急務ではなからうかと思いました。またそうなるこそエッセンシャルワーカーは本来の意味での「必要不可欠な労働者」の扱いを受けられるのではないかと思います。

◎ニコニコ箱報告

・誕生記念内祝

藤井君、
井上君
(お祝い頂きありがとうございます。)
光本君
(卓話を聞いて頂きありがとうございます。
来週の木曜日 9/15 ドラマ「遺
留捜査」に当社採石場が出てきます。
イメージアップのつもりでしたが、
残念ながら登場人物が中東のゲリラ
に襲われるシーンです。)

・創業記念内祝

藤井君、
松下君
(お祝い頂き有難うご座居ます。)
長山君
(ありがとうございます。)

・本日は伊藤ガバナー補佐ようこそお越し下さいまし
た。 石田君

本日の合計	¥	35,000-
7/1 よりの累計	¥	493,000-

◎R 財団への寄付 (年次)

河合 一人君 ¥10,000- 松下 浩章君 ¥ 5,000-
長山 正剛君 ¥ 5,000- (伊藤ガバナー補佐本日はあ
りがとうございました。本
年度よろしくお願い致し
ます。)
山口 誠君 ¥ 5,000-

本日の合計	¥	25,000-
7/1 よりの累計	¥	240,000-
一人当たり平均		\$ 42.02

◎R 財団への寄付 (ポリオ)

本日の合計	¥	0-
7/1 よりの累計	¥	33,000-
一人当たり平均		\$ 5.78

◎米山奨学会への寄付

石田 佳弘君 ¥ 5,000- 光本 智輝君 ¥ 5,000-

本日の合計	¥	10,000-
7/1 よりの累計	¥	185,000-
〔 会員より	¥	80,000-
クラブより	¥	105,000-
一人当たり平均	¥	4,405-

◎青少年育成基金への寄付

山口 誠君 ¥ 5,000-

本日の合計	¥	5,000-
7/1 よりの累計	¥	25,000-



2022-2023 年 度 例 会 プ ロ グ ラ ム

月	日	内 容	例会後の行事	備 考
9 月	14	卓話(中西君)	地区大会実行委員会 事前協議(高槻 RC のみ)	
	21	外部卓話 (大阪府健康医療部 生活衛生室 薬務課 麻薬毒劇物グループ 塚中 万里子様)	第 9 回地区大会実行委員会	秋の RYLA セミナー(9/23~25)
	28	地区大会実行委員会報告 地区大会実行委員会の委員会例会		* 社会奉仕委員会
10 月	5	記念月御祝/卓話(長井君)	定例理事会 情報集会・新入会員歓迎会・ 伊藤ガバナー補佐激励会 (於:山水館 17 時~)	地域社会の経済発展月間/米山月間
	12	ガバナー公式訪問		
	19	卓話(橋本君)	第 10 回地区大会実行委員会	
	26	地区大会実行委員会報告 地区大会実行委員会の委員会例会		* 職業奉仕委員会